

上田正昭 ウベタマサキ 國史學者。昭和二年四月、二十九日兵庫縣生れ（一九二七

一）。昭和二十五年京都大學文學部史學科卒。園部高等學校・鴨沂高等學校各教諭を経て、二十八年京大助教、四十六年教授、五十八年同大理應文化財研究センター所長。古代史専攻。

著書『新編の部落の歴史』（合著・部落問題研究所編、昭和二十七年

七月五日京都・部落問題研究所）、『神話の世界』（昭和二十一年八

月一日大阪・創元社「創元歴史選書」）、『歴史公けける芸術と社

会』（合著・日本史研究会編、昭和二十五年九月十五日みずさ書房）、

『大和朝廷』（昭和四十三年一月十日角川書店「角川新書」）、『新

・國史談—日本文化とは何か』（合著、昭和四十三年六月二十日文芸

春秋）、『日本文化の創造—日本人とは何か』（湯川秀樹共著、昭和

四十二年二月二十日京都・雄渾社）、『日本神話』（昭和四十五年四

月二十日岩波書店「岩波新書」）、『流域紀行』（合著・朝日新聞

社編、昭和四十八年二月二十日朝日新聞社）、『人と思想—津田左右吉』

（編、昭和四十九年七月二十一日二書房）、『古代再発見』（昭和

五十年二月二十日角川書店「角川選書」）、『古代の日本と朝鮮』（昭

和六十二年五月二十九日岩波書店「Iwanami Graphics」）、『古代の

日本と東アジア』（編、平成二年五月二十日小学館）等。